

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月27日

事業所名:練馬福祉園 児童発達支援事業えとわる

保護者等数(児童数) 52

回収数 33

割合 63 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分確保されているか	32	0	0	1	・広くて過ごしやすいです。 ・走ったり、運動も可能な体育館の様なスペースがありとても良い。 ・ホールなどの広いスペースがあるので良いと思います。 ・ここまで大きなスペースを利用できる施設は他にないのでは、学校かと思う程の広い空間でのびのびと体を動かせています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	31	1	0	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	1	0	2	・子ども用のトイレもあり、子どもが利用しやすい。 ・イラストなどで、わかりやすく見て理解できて良いです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32	0	0	1	・加湿器などが置いてあり、いいと思います。 ・集中できるように様々な工夫がされており、過剰刺激が散ることがありません。とても清潔で過ごしやすい空間だと思います。	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画が作成されているか	32	1	0	0		
	6	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	2	0	1	・具体的に適切だと思います。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	33	0	0	0	・遊びを通して学べるのでありがたいです。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	30	3	0	0	・毎回様々な内容のプログラムがあり、本人も楽しんでいるようです。 ・様々なプログラムがあるので、子供も楽しめると思っています。 ・どれだけの引き出しがあるのかと思う程、毎回のしく参加できるプログラムです。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	4	12	11	・えとわるに通う上で、定型発達のお子さんとの交流は求めています。 ・普段は幼稚園に通っているのですが、この項目を必要としていない。 ・幼稚園と連携してくれていると思います。	⇒保育所や幼稚園等の子どもと活動を行う機会は設けておりません。保育所や幼稚園等との併用利用を想定した単独午後クラスを設けており、他園の利用や交流をサポートする体制は整えております。また、保育園や幼稚園の担任と情報共有を行ったり、担任の方が見学に来園する機会もあります。その他、毎年みのり祭やネリフリという地域交流行事を開催しており、障害の有無によらず地域在住の多くの親子に来園して頂く機会を設けております。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	32	1	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	33	0	0	0	・とてもいいねいに支援内容の説明を、毎回していただいております。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	16	6	1	10	・こちらから相談した内容について丁寧にお答えいただいていると感じます。 ・あれば参加したいです。 ・家で出来るトレーニング方法を色々教えていただきました。 ・信頼のおけるえとわるの先生による講座などがあればたいへん嬉しいのですが難しいと思いますので、講座の紹介や本の紹介などいただけると、家族も知恵を広げられると思います。	⇒ペアレントトレーニングのプログラムは実施していません。家族支援プログラムとして、必要に応じて相談支援や親子クラスでの助言等を行っています。また、様々な相談方法を選択できるように、全保護者に交換ノートを配布したり、電話での相談等にも随時応じております。講座や本の紹介について、必要な情報はそれぞれ異なる為、個別にご紹介する等して対応できればと考えています。

保護者への説明責任等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の本人の様子や、どんな課題を行い、どう対応できていたかなど、かなり詳細に伝えていただいています。</li> <li>・送迎時に、子供のこだわりの変化や心配事などをこちらから伝えやすい雰囲気を作ってください、その内容を先生方の中で共有していただいているので、とても助かっています。</li> <li>・少しのケガでも、すぐに対処してくれて連絡表に記入してくださって、わかりやすいです。</li> <li>・毎回設定あそびでの評価をいただける。他者との関わりや生活面での成長や課題が知れると尚ありがたい。今月の様子などまとめた形でも良いので自由場面のこともうかがえたらと思います。</li> </ul>	⇒自由場面の様子については、面談等の機会にお伝えしたり、お電話や交換ノート等を活用してお伝えすることもあります。そうした様々な手段で細かな様子をお伝え出来ますので、ご活用頂ければと思います。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談は年に2回で妥当か？ケアプランの期間が6か月だからだと思います。</li> <li>・連絡ノートや電話などで、すぐに助言して下さり助かります。</li> </ul>	⇒面談については各利用児あたり年間2回設定しています。妥当性については個別に異なると思いますので、随時任意面談を受け付けております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	3	8	12	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えとわるでそれを求めて通所しておりません。</li> <li>・バスなので、たくさんの保護者の方とは交流がないです。</li> </ul>	⇒保護者会などの開催は行っておりません。保護者が主体となって企画する交流会や勉強会があれば、会議室等の貸出を行い、保護者同士の連携をサポートすることはあります。また、毎年開催しているクリスマス会は、子どもだけでなく保護者同士の交流も目的としています。よりよい交流につながるよう、プログラム内容を検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	29	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話だけでなく、文面での相談にも応じていただけるので助かっています。</li> <li>・いつも色々相談させていただいてます。</li> <li>・いつも迅速に対応して下さり、親子共々支えられております。</li> </ul>	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	2	0	2		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	4	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページが新しくなって、とても見やすくなりました。</li> </ul>	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	30	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりした組織と認識している為、信頼しています。</li> </ul>	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	2	0	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時(災害など)はあると思いますが、感染症などは分かりません。</li> <li>・おたよりをいただいているので、目でも確認出来てよいです。</li> </ul>	⇒園として救命講習の参加や各種マニュアルは策定していますが、周知や訓練は不十分でした。今後は周知方法や発生を想定した訓練の実施方法を検討していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	19	3	0	未回答 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練での学びをひとつひとつ真剣に伝えてきました。恐怖につながることなく導いてくださりありがとうございます。</li> </ul>	⇒防災訓練は園全体で毎月1回実施しています。また、えとわる利用中を想定し、お子さんとバスに避難する訓練を年間3回実施しています。利用者の方には広報誌すずしろに写真と文章を掲載し、その様子をお伝えしました。『わからない』とのご回答が多かったので、周知の方法について検討していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	29	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供はえとわるが大大大好きです。</li> <li>・体調が悪くて欠席の時など、泣いて行きたいというくらい楽しみにしています。</li> <li>・保育園ではトラブルも多く登園を渋る日々ですが、えとわるの通所は心待ちにしています。数少ない安心の場として大きな存在であり続けていただいています。</li> </ul>	
	23	事業所の支援に満足しているか	32	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても満足しています。</li> <li>・療育の内容にも満足しています。知識と経験が豊富で子どもとの接し方が丁寧で優しく感じています。</li> <li>・大変、満足しております。</li> <li>・感謝の日々です。できれば放課後デイの開設を！切に願っています。</li> </ul>	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月27日

事業所名:練馬福祉園 児童発達支援事業えとわる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	・ふれあいホールは約149㎡で療育室は約43㎡。基準を大きく上回る面積を確保し、活用している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	10	0	・法令で必要とされる人員配置基準に加え、時短のパート職員も配置することで手厚い対応となるよう努めている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	0	・空間をパーティションで仕切ったり、写真カードを活用する等、環境や情報伝達は整理されている。 ・構造化を行っている。(物理的構造化、時間の構造化、手順の構造化、ルーティン化等)	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	・その日使用した玩具はクロロラ水(次亜塩素酸ナトリウムと同等。インフルエンザ、ノロウイルス、O157、大腸菌、サルモネラ菌などの除菌が出来る除菌洗浄水)で毎日噴霧消毒をしている。食事席やテーブル、床の清掃にも使用している。食事前には手の消毒にも使用している。 ・毎日の掃除に加え、週1回樹等をクロロラ水で拭く等、清潔に保っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1	・常勤、非常勤職員は全員、目標管理システムに則り、毎年年度初めに目標を設定し、年度末に振り返りを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	1	・第三者評価を実施している。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	・施設内研修として、新任研修、新任フォローアップ研修、理念研修、虐待防止研修、虐待防止フォローアップ研修、施設内研修(基礎感覚を育てる発達支援)を実施した。外部研修には毎月1~3名の職員が実費で参加している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	3	・家族支援や地域支援等、ガイドラインの項目には一部則っていないが、各利用児に必要な支援内容を重視して作成している。 ・ガイドラインからの選択はされていないが、本人に合った支援内容に設定されていると思う。 ・支援計画には子どもや家族から必要な支援を問い取り、具体的な支援内容を設定している。	・ガイドラインからの選択は行っていない。 ⇒当園は本人支援に重点を置いている為、家族支援や地域支援は支援計画に記載していませんが、家族との面談や、地域の幼稚園・保育園・学校・相談員の方々と連携を行っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	支援計画に沿った支援が偏りなく継続的に行われるように、エクセルで記録用のシートを作成している。シートはデータを抽出、集計することが出来る。毎回必要な情報を記録して集約している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	・1クラスあたり2名の担当者が交互に活動プログラムを立案するチーム体制をとっている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	・日々の活動プログラムをエクセルに入力しており、プログラムを立案する際にデータを抽出・集計できるようになっている。これにより、プログラムが固定化したり偏ることを防ぐことが出来る。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	3	・個別活動、集団活動と分けて考えてはいない。 ・小集団での活動を基本とし、その中で個別的な活動を設定することもある。		

供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まった場としては設定されていないが、自分は注意点等確認するようにしている。</li> <li>・役割分担が変わる前などには、変わる職員に直接伝えているが、全体としては打ち合わせをしていない。</li> <li>・変更がある場合のみ行っている。担当や役割は固定することで混乱やミス、もれを防いでいる。</li> <li>・必ず打ち合わせをする時間は設けていないが、欠員による職員配置については必要に応じて確認している。</li> </ul>	⇒職員によって出勤時間が異なるため、その日行われる支援内容や役割分担は各自で確認し、必要な連絡事項等は申し送り用紙に記載して全員が回覧する仕組みとなっています。確認が必要な点は直接やりとりをしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まった場としては設定されていないが、自分は注意点等確認するようにしている。</li> <li>・必ず打ち合わせはしていないが、支援の内容をデータに記入し、共有できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接支援終了後は、すぐに掃除等の間接業務に入るため、時間がとれないことが多い。</li> <li>⇒職員によって支援終了後の動きや退勤時間が異なるため、連絡事項などは申し送り用紙に記載して全員が回覧する仕組みとなっています。対応や検討が必要な点は支援終了後に必ず振り返りを行い、当日中に対処策を出して共有しています。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に配布する日々の記録だけでなく、今日の支援を明日の支援につなげる為に、利用児毎に時系列になった記録用のシートを作成し、毎日記録に残している。</li> </ul>	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所に来園して頂き、療育場面を見てもらいながら情報共有や引継ぎを行うこともある。</li> <li>・指定された引継ぎ資料に記入して情報共有を行うこともある。</li> </ul>	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学の受け入れや就学支援シートで行っている。</li> <li>・当事業所に来園して頂き、療育場面を見てもらいながら情報共有や引継ぎを行うこともある。</li> <li>・指定された引継ぎ資料に記入して情報共有を行うこともある。</li> </ul>	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	作業療法士、特別支援学校の教員、心理士、保育士、児童発達支援管理責任者などが参加する勉強会や研修に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母集団でできている子どもも多く、えとわるとしてそういう場を設定する必要はないように思う。</li> <li>・交流の機会はないが、みのり祭やフリーマーケットなどの行事により地域に開けた環境にはなっている。</li> </ul>	⇒保育所や幼稚園等の子どもと活動を行う機会は設けておりませんが、保育所や幼稚園等との併用利用を想定した単独午後クラスを設けており、他園の利用や交流をサポートする体制は整えています。また、保育園や幼稚園の担任と情報共有を行ったり、担任の方が見学に来園する機会もあります。その他にも毎年みのり祭やネリフリという地域交流行事を開催しており、障害の有無によらず地域在住の多くの親子に来園して頂く機会を設けております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	10		⇒参加実績はありません。参加を検討していきます。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時の様子を支援記録として配布することで、保護者へは十分な情報を提供できていると思う。</li> <li>・年に2回相談支援の場を設定している。また、希望に応じて随時任意面談や見学に応じている。交換ノートを全保護者に配布し、書面での相談にも対応している。電話での相談にも応じている。</li> </ul>		
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10	0	親子クラスや各種相談の場で保護者の相談に乗ったり、具体的な提案や助言等を行っている。また、様々な相談方法を選択できるように、全保護者に交換ノートを配布したり、電話での相談等にも応じている。		

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0 無回答 1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0		・年に2回相談支援の場を設定している。また、希望に応じて随時任意面談や見学に応じている。交換ノートを全保護者に配布し、書面での相談にも対応している。電話での相談にも応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7		⇒父母の会や保護者会は開催していません。保護者が主体となって企画する交流会や勉強会があれば、会議室の貸出等を行い、保護者同士の連携をサポートすることはあります。また、毎年開催しているクリスマス会は、子どもだけでなく保護者同士の交流も目的としています。よりよい交流につながるよう、プログラム内容を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		相談や申し入れについては、各種相談の場だけでなく、苦情相談窓口を設けて対応の体制を整備している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0		毎月1回クラスだよりを配布し、活動内容や月の予定を発信している。また、年に4回広報誌すずしろを配布し、行事や避難訓練の様子をお知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	0		・みのり祭、フリーマーケット等、地域交流行事を開催し、地域住民との交流の場を設けている。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	4	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0		
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0		・虐待防止の研修機会を毎年確保している。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0		・虐待防止委員会を設置し、毎月一回開催している。必要な場合には組織的な規定に基づいた手続きをとる体制は整っている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 2019年度 えとわる保護者アンケート自由意見欄

- ・毎回、活動時の子供の様子など、細かく記入した用紙を入れてくれるので、どんな事でつまづいているのか、こんな事できていたんだ！などがわかり、とても助かっています。えとわるに通える事ができて、とてもうれしいです。親子共々、安心できる場所です！
- ・安心して通わせています。
- ・幼稚園行事などでお休みしたとき、他の日に振り替えできたら嬉しいです。
- ・面談時に子どもの状態について、「〇〇君は×××の特性がある」等、改善されている点、引き続き支援が必要な症状、特徴などを明文化して書面でもらえると嬉しいです。（保護者として漠然としてしか捉えられていない気がしてしまうので。）
- ・幼稚園の後に療育（えとわる）に行くと、疲れてるなと思うことがけっこうありました（翌日の朝起きられないなど）。2時間と長いので、週1日の方が無理がないのかもと思いました。寒い時期になると、かぜをひくことが多くお休みすることが増えました。支援内容はとても良いと思っています。体力的に無理のないように通わせたいと考えています。
- ・子どもに寄り添った支援をしてくださり、子どもも楽しく通っています。目に見えて成長を感じることができ、感謝しています。
- ・子どもは楽しくえとわるに通っています。いろいろな課題をやってくださるので、助かっています。通園バスがあり、親は送迎の手間が少ないのですが、降園後の療育で本人が疲れないのか、ときどき気になります。
- ・息子は幼少時、発達が遅く喋らず、知的障がいと診断されました。当時私は絶望し、毎日泣いて暮らしていました。そんな中、えとわるに入園出来たことで、的確なご支援により急激に発達し、診断を覆す奇跡が起きました。えとわるの先生方には感謝しかありません。長い間、的確なご指導、アドバイスを本当にありがとうございました。私の精神面も、何度も救って頂きました。4月から、普通学級に元気よく通えますのも、えとわるのお陰だと思います。えとわるを卒園するのが嬉しいはずなのに、とても寂しいです。卒園してもまた、会いに行かせて下さい。
- ・えとわるに通所することが出来て、本当に良かったと思います。子供が成長していく姿を、第三者の方が見て、「すごく成長していますね」と言われることが多くなりました。先生、本当にありがとうございました。